

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	弊社は、「はぐくむ、大切なことのすべて」を企業理念に掲げ、どの場面においても、目の前の子ども一人ひとりの絆を大切にし、大切なことは何かを共に考え、子どもたちの素晴らしい未来のために、真心を込めてはぐくみ、提供し続けます。この企業理念をベースに「5つの運営方針」と健全育成プログラム「3本の柱」をもち、ひまわりクラブの運営にあたります。ひまわりクラブが安心・安全な居場所であり、第二の家である「生活の場」を確保すると同時に、保護者の皆さまに安心して子育てと仕事の両立に取り組めるような、環境を提供していきたく考えています。
運営組織	<ul style="list-style-type: none"> ○職員配置 <ul style="list-style-type: none"> ・支援の単位毎に施設責任者（放課後児童支援員）の配置し2名以上で子どもの育成支援を実施 ・運営支援担当を選任（業務；新潟市、関係機関、クラブとの調整、連絡・相談） ○人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容 <ul style="list-style-type: none"> ・地元優先雇用をベースし採用（既存職員の継続雇用も含む） ・社内紹介制度に人材（支援員・補助員）の紹介 ・児童福祉専属の新卒者採用の積極採用 ・広告募集（新聞折り込み・ネット広告・ポスティング等）による人材確保 ・近隣高校・大学へのアルバイト、インターンシップの依頼 ・本部・営業所・近隣現場からの応援体制（人欠時・長期休暇時） ・入社時研修、定期的なブラッシュアップ研修の実施。基礎・専門知識の習得 ・有識者による「いじめ問題」や「発達障のこどもへの対応」等の講習会の実施
運営についての提案	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達段階に応じた健全育成 <ul style="list-style-type: none"> ・児童期（低学年・中学年・高学年）の発達の特徴を踏まえたかわり、指導 ・年間行事を通じた児童育成（感性育成プログラム・造形遊び、食育セミナー） ○保護者、学校、地域との連携に対する考え方及び取組内容 <ul style="list-style-type: none"> 保護者：連絡ノート・おたより、保護者会を中心に連携・協力 アンケートによる利用実態調査。運営改善活動の実施 学 校：定期的な情報交換会の開催。児童に関する情報共有、協力体制の確立 地 域：関係機関（警察署・消防署・町内会・育成協議会等）との連携 ○配慮を要する児童に対する対応方針 <ul style="list-style-type: none"> 【障がい児対応】 <ul style="list-style-type: none"> ・支援員加配や施設・設備が整っている場合、可能な限りの受け入れ ・関係機関（学校、病院、キッズサポートチームなど）や保護者との連携、ひまわりクラブに通う子どもたちへの理解と協力による育成サポート体制の確立 【アレルギーを有する児童】 <ul style="list-style-type: none"> ・生活管理表指導表によるアレルギー食物の確認・排除の徹底 ・お皿の色分け、児童名、アレルギー食物名を記入したお皿での提供 ・おやつは配る前に職員2名以上で確認してから分配 ・定期的なエビベン講習会実施による、支援員の資質向上を図ります ○要望・苦情に対する対応及び方法 <ul style="list-style-type: none"> ・未然防止への取り組み（日々のミーティングによる支援員間の情報共有の徹底） ・現場で解決困難な場合は第三者委員（キッズサポートチーム）を含めた問題解決・アドバイスの実施 ・施設間での要望・苦情等の原因・対策・対処方法を情報共有

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	待機児童をすする事なく入会希望日受け入れを行った
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	障がい児童待機0人	A	職員配置数を変更し受け入れを実施
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て開所対応	A	開所時間変更あり(コロナ対応)
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上地域への業務内容公開	10/22クラブ実施	C	クラブによって開催した所と未開催があります。
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年5回実施	A	2020.4~2020.9迄 活動費を手渡しで各クラブで預かっており監査を実施していた。
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	入札において未実施	B	自社で取り扱っている消耗品を使用し経費削減に努めた
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日1回ミーティング実施	A	会社貸与携帯での学童ネットを使用し、情報共有実施
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	各クラブごとに避難訓練年1回実施	B	年1回のみ実施
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	施設ごとでの実施 年1回	B	主体研修としては研修実施はできなかったが、クラブごとでの実施
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	日常業務の中で点検実施	B	日々実施していた
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	各クラブへ仕様書とマニュアルを配布	B	各クラブへ仕様書配布し保管。責任者会議で仕様書内容見直し共有を実施
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2名以上の配置	A	配置条件以上に配置をしたクラブあり
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	発達障害児童対応研修1回 読み聞かせ研修1回	A	全職員を対象とした社内研修 年3回実施
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	全職員健康診断受診	A	中途採用の職員には、入社時に健康診断結果を提出

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和元年度から新潟市学童22クラブの指定管理として運営をしております。
特に令和2年度、弊社で実施をして参りました点を記載致します。
①新型コロナウイルスにより、弊社独自の情報共有を使用し、全国で受託している児童とのリモートでふれあいを実施。季節のイベントごとに弊社事業本部より工作キットを児童人数分配布。自主事業として活用。
②おやつアレルギー対応⇒職員全員がわかるよう帳票での管理・トレーを使用

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和元年度から公募により選定され、ひまわりクラブの運営を開始。児童の安心・安全のために改善を繰り返しながら運営している。運営について不安な点があれば、市担当者との打合せも何度も行いながら、利用者満足向上につながる従業員満足向上を図っている。保護者の要望や支援員からの意見についても、事務局職員が現場まで足を運びコミュニケーションをとりながら丁寧に対応している。
また、コロナ渦で様々な制限がある中、緊急時の事象に対応するとともに、自社の強みを生かしたふれあい会や工作キットの配布等により、児童が楽しめる時間を創出している。
そのほか、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図るとともに、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	(株)DreamAdvance ゆめのき学園	指定期間	2019年4月1日 ～ 2024年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後の時間、「時間で考え 自分で選択し 未来を創る力を育む」の理念の基、ひまわりクラブで過ごす時間のみでなく、その後自分たちで考え、生きていける大人になるよう見守り応援する。</p> <p>【基本方針】 ①こどもたちの心身の安全、健康管理 ②遊び、学びを通して個々の可能性を伸ばす。 ③学校、地域、さまざまな社会資源との連携を大切にし、家庭を支援していく。</p>
運営組織	<p>【職員の配置】 支援単位ごとに2名以上の支援員を配置し確実なクラブ運営を実施する。</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 児童の育成の情熱を注ぎ、心身ともに健康な支援員を育成する。職員がまず理念に基づき行動できること。また、子育て世帯の職員も働きやすくなるように、働き方の工夫を行い、やる気と熱意のある職員をサポートしていく。</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】</p> <p>①さまざまな分野に触れることができよう外部との積極的な関わり、興味づけの場。 ②支援員が決めた枠に入れるのではなく、子どもが子どもを育て合う。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取り組み内容】</p> <p>連絡帳、クラブ便り、保護者会等により保護者と連携を図るとともに、保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、開かれたひまわりクラブを目指す。</p> <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <p>日頃から学校との情報共有に努め、子どもの健康状態や心身の状況に応じた応援、事故、犯罪、災害等から子どもを守るために連携を図る。</p> <p>【地域との連携に対する考え方及び取り組み内容】</p> <p>ふれあいスクールや地域教育コーディネーターとの情報交換、連携に努め、さまざまな視点で児童を支援できるようにする。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	0人	A	難しいケースも基本入会条件に満たすことができないか、常に利用者の立場に立って考えてきた。入会条件に達しない方にはひまわりクラブ以外の他の提案をするよう努めてきた。
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	受け入れた	B	
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	対応できた	A	新型コロナウイルスの拡大に伴う休校・分散登校にその都度対応してきた。学校と連携をとり、空き教室を貸していたりのご協力をいただき、初めてのコロナ禍でのクラブ運営を進めることができた。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	【坂井輪】PTAとのふれあいスクールについての情報交換・地域ボランティア受け入れ 【坂井東】ふれあいスクール運営委員会への出席・地域の野球チームと連携した野球体験実施 【新通つばさ】地域の手話サークルによる手話教室を隔週開催	A	同じ地域の子どもたちを見守る立場として、学校やPTAの会議や情報交換に積極的に参加してきた。今年度はコロナ禍のため地域と連携した活動は縮小したが、この先に繋げていく準備期間となる1年だった。
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	内部監査2回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	昨年と同様の対応を継続し、経費縮減に努めた	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日十分な時間を取り行った	A	新型コロナウイルスの影響で会議等で集まるのが困難な中、オンラインを活用した会議や研修を実施した。また、クラブ長間の連携を強め、情報交換をしながらコロナ禍でのクラブ運営について検討を重ねた。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	様々なパターンを想定して行った	B	
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	行わなかった	C	契約更新時に個人情報についての誓約書を取り交わしている。また、1年目にグループ会社から指導を受けたことを継続的に実践してきたが、研修は行わなかった。今後研修の形を検討する。
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	安全点検に基づき日々チェックした	A	日々の点検、毎月の点検を行った。また、安全のために施設・設備の改善を提案した。
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適宜確認、意識を持ち行動	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	職員の採用・定着が課題	B	異動や育休等による欠員があり、補填が困難であった。新採用者の定着に課題があり、職員個人との面談や全体での人材配置の検討に力を入れている。
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	事例を用いた研修の充実	A	有志参加の研修を行った。特に事例を用いた研修を充実させ、職員が日々の抱えている課題を解決して保育に活かすことに重点を置いた。
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	対象職員の健康診断の実施	B	

【評価基準】
A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B: 要求水準(評価指標)が達成されている
C: 要求水準(評価指標)が達成されていない
※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

コロナ禍という初めての状況の中で、学校との連携や、クラブ間での連携を深めて対応を行った1年だった。外部との繋がりを感じる事が難しい中において、オンライン事業にも積極的に挑戦し、デジタルコンテンツの開発にも力を注いだ。個人情報保護についての内部研修は、今後定期的の実施していける形を検討する。人材の充足については、新しい求人媒体の検討を進めている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和元年度から公募により選定され、ひまわりクラブの運営を開始。入会の相談時から利用者目線で相談受けているほか、地域団体と連携した活動を行うなど、目標である「開かれたクラブ」を実践している。コロナ禍で様々な制限がある中、緊急時の事象に対応するとともに、オンライン授業やデジタルコンテンツの開発など、新しいことに積極的に取り組んでいる。また、事務局と現場の支援員との間でも適切にコミュニケーションが図られているほか、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	両川・小須戸・東曾野木・曾野木・横越・竹尾・西内野・関屋ひまわりクラブ		
管理者名	新潟県ビル管理協同組合	指定期間	2019年4月1日 ～ 2024年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	

管理・運営に関する基本理念、方針等

基本方針	<p>【基本理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に児童の健康と安全確保に配慮し、放課後の時間帯における家庭的機能の補完により、「生活の場」及び「遊び」を通して、児童の健全育成を図る。 <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の平等利用を確保し、児童の健康管理、安全管理、情緒の安定を図り、クラブ活動を通じて、遊びの活動と学習への意欲形成、自主性、社会性、創造性の向上及び保護者の子育て支援を図ること 児童・保護者・地域のニーズに即した管理運営及び職員の資質向上に努め、モチベーションの高いクラブ運営を実現すること
運営組織	<p>【職員配置】</p> <p>〈正規支援員〉各クラブ2名 〈補助員〉各クラブ運営に即し適正な人員を配置</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高い人材を育成するための計画的な研修の実施 計画的・継続的な職員公募により、職域全体において広く人材を確保し、採用・配置にあたっては、厳正な選考とOJT教育を含む採用前研修を実施
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の人権と人格を最大限尊重して常に傾聴の姿勢を基本とし、子どもの年齢層による発達過程と個々の養育環境を十分に理解し、個別のかつ適正な育成を図る。 <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入会時の「児童調査票」への記入とヒアリング及びクラブの設置目的への協力を要請して子どもたちの放課後生活を継続的かつ安定的に保障し、親の働く権利と家族の生活を守る。 <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的に子どもの安全確保と健康に関する情報交換と共有し、学校施設の利用等に関して積極的な連携を図る。学校とひまわりクラブの運動性に考慮し、積極的にふれあいスクールと連携を図る。 <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ひまわりクラブの存在とその目的を的確な広報活動を用いて周知し、クラブ解放Dayの拡大に努め、クラブ行事への招待活動、地域行事への参加を検討する。 突発的な病気やケガ、事故等に備え日頃から地域の医療機関等との連携を図る。 おやつ購入などは、可能な限り地域からの調達を心掛ける。 <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいのある子どもの受入にあたっては、子どもと保護者の立場に立ち、障がいの程度、発達状況等、個々の状況を的確に捉えた育成とより良い支援や問題の解決方法を検討する。 <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を配置し、要望・苦情等の受付体制の明確化と積極化を図り、経過等については対応事例として検証と評価を行い、その後の事業運営に反映させる。 利用者アンケートにより日頃から積極的な利用者ニーズの吸い上げと把握に努める。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	B	目標を達成した
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ	B	対象児童に適した支援を実施した
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて開設対応	B	臨時休校時に全て適切に対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	一部クラブのみでの実施	C	新型コロナウイルスの影響による
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	全クラブで内部監査を年1回実施	A	目標を達成した
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の励行	B	経費縮減に努めたものの運営経費が高んだ
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	全クラブで始業前ミーティングを毎日実施	A	毎日、実施し情報共有を図っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	全クラブで年2回実施	A	目標を達成した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	全クラブで年1回実施	A	目標を達成した
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	全クラブで毎月点検を実施	A	定期点検により、常に安全に使用できるよう保持している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	全クラブで2人以上配置	B	一時的に安定性に欠けたが現状は適正に配置されている
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	全員参加の研修会は未実施	C	新型コロナウイルスの影響による
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健康診断を年1回実施	A	目標を達成し、衛生管理にも配慮されている

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

平成28年度より指定管理者として4クラブ6施設のひまわりクラブ運営にあたっており、2019年度から新たに追加されたクラブを含め、8クラブ11施設を運営。指定管理者として、利用者満足度を向上させるためには、まず従業員満足度をより向上させるべきであるとの認識から、運営当初より現場との距離感・職員とのコミュニケーションを重視し、常に迅速な対応を心掛けるとともに、職員の働き方の見直しなど安心・安全への配慮と適正な人材確保に努めてきました。令和2年度の運営においては、新型コロナウイルスの影響により様々な制限を受ける中、常に適切な感染予防対策に取り組んでまいりました。また、保護者からの要望にあたっては、クラブと管理者が連携を図り、適切な判断のもと、迅速に対応するとともに利用者アンケートの実施により運営に反映させることができました。しかし、例年実施してきた全体研修会については、やはり新型コロナウイルスの影響により開催することができず、収束を待って研修計画を実行したいと考えております。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成28年度から公募により選定され、ひまわりクラブの運営を開始。令和元年度からは管理するクラブが追加となった。保護者の要望や支援員からの意見についても、事務局職員が現場まで足を運びコミュニケーションをとりながら丁寧に対応し、利用者満足向上につながる従業員満足向上を図っているほか、コロナ渦で様々な制限を受ける中、適宜対応を考えながら運営を行っている。放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図るとともに、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>子どもと親、地域と支援員とが主体的に運営に参加し、まちぐるみで支え合う子育て支援の拠点となるひまわりクラブのを目指す。</p> <p>①子どもたちの成長への貢献…子どもたちの生きる力の基礎となる主体性や社会性、創造性を高めていく保育を大切にすること。</p> <p>②親の子育て支援への貢献…働く親のニーズに応じて、仕事と子育ての両立を支援。</p> <p>③地域のまちづくりへの貢献…子育て支援に関心のある地域の方との出会いを広げ、子育てしやすい街づくりを地域の皆さんと一緒に進める。</p>
運営組織	<p>【職員配置】 常勤職員-各施設2名， 非常勤職員-各施設2名以上を配置</p> <p>【職員研修、採用基準】 子どもや保護者と向き合う姿勢、時代のニーズを受け止められる視野の広い人材確保。 計画的な研修の実施で職員の資質向上。</p>
運営についての提案	<p>【健全育成に対する考え方】</p> <p>①一人ひとりの子どもを理解し、「安心」の土台を築く</p> <p>②子どもにわかりやすいメリハリのある生活</p> <p>③子どもの心身の育ちの中で遊びを豊かに展開することの支援</p> <p>④会話のキャッチボールの関係づくりと、相互理解の構築</p> <p>⑤一人ひとりの子供の育ちと発達をよく捉えた支援</p> <p>【衛生管理】 コロナ禍による対応</p> <p>①施設及び備品等の消毒</p> <p>②定期的に換気を行う</p> <p>③マスクの着用</p> <p>【保護者・地域との連携】 日常の情報交換を大切にし、積極的に情報発信を行う。</p> <p>【要望・苦情に対する対応】 意見や要望が率直に出される信頼関係の構築。 要望や苦情等の意見は真摯に受け止め、解決に向けての話し合い。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	目標達成
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れた	A	個々の特性に寄り添い支援を実施した
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて対応	A	小学校や保護者と連絡を密にし、休校時等の対応を行った。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	保護者会の実施 地域との連携	B	クラブ、児童、保護者、地域が関わる機会を作った
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	月1回実施	A	法人会計を使用し、月1回会計状況を確認している。
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の励行	B	縮減に努めてた
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日実施、月1回全職員会議の実施	A	毎日実施し、情報共有を図っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年2回以上実施	A	併設する施設との合同訓練と独自の訓練を実施した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	年1回研修を実施	A	目標を達成した
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を実施	A	定期点検を行い、安全に使用できるよう保持している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書の通り実施	A	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2人以上の配置	A	適正に配置されている
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	全体研修への参加 内部研修を実施	A	積極的に研修に参加した
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健診診断年1回	A	安全推進員を配置し、目標達成した。

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

白根ひまわりクラブの児童の健全育成を図るため、支援員、利用児童、保護者、学校、地域等と連携をとりながら運営に取り組んできた。コロナ禍における対応も同様に前述の連携をさらに密にし、慎重に対応した。日々のミーティングに留まらず、第1第2の両クラブ間での情報交換、情報共有を図っている。併設している児童センターや近隣施設の南区白根健康福祉センターの受託もやっていることから、それらとも情報交換や連携を図り、行事への参加を通じ、地域との関係を深めることができ、安心安全の見守りにも繋がることができている。また近隣施設と合同避難訓練や防犯訓練、独自避難訓練を実施し、危機管理体制の強化を図ることができた。利用者アンケートを児童、保護者の両方に実施。児童のアンケート結果を元に、児童が考え主体になれるような活動を取り入れてきた。保護者のアンケートでは、結果を公表するとともに改善事項については職員間で話し合い改善に向けて取り組んでいる。コロナ禍において、行事等の中止、縮小をする中で保護者との関わりを持てるようクラブ内の作品展示や児童の様子を見てもらう工夫を行った。当該年度も南区内の学童クラブとの情報交換会を計画し、学習機会の創出や運営改善に向けて意見交換を積極的に行ってきた。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

白根ひまわりクラブの児童の健全育成を図るため、支援員・利用児童・保護者・学校等の連携を図りながら運営に取り組んでいる。併設する児童センターや健康福祉センターの受託もやっていることから連携を強化し、合同の行事への参加、交流など幅広い活動を行っているほか、コロナ禍で様々な制限がある中、緊急時の事象に対応しつつ、保護者と関わりが持てる機会も創出している。また、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図るとともに、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施している。そのほか児童・利用者アンケートを実施し、結果を公表するとともに改善事項については職員間で話し合い改善に向けて取り組んでおり、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	下山ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人 下山福祉会	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	①地域の児童が下校後、安心できる環境で楽しく過ごす。 ②子どもたちの状況や発達段階を踏まえながら、子どもたちの最善の利益を考慮し、その健全育成を図る。 ③子どもたちの安全管理、健康管理、情緒の安定、自主性、社会性創造性の向上及び基本的な生活習慣の確立を図りながら、保護者と連携して育成支援をする。
運営組織	①児童の安全等基本方針の実施のため、常に適正な支援員の配置を実施する。 ②豊富な経験と実績をもち、心身ともに健康な支援員を確保し、資質向上に努めるよう、研修を実施し質の高い人材を育成する。
運営についての提案	①学校、保護者との連携のもと、その児童に合わせて支援をする。 ②保護者面談の機会を設けたり、便り等で連携をとる。 ③学校での様子、出来事を伝えてもらい、不安な気持ちを引きづらないようにする。 ④下校後の気持ちが開放的になるので、住民との連携を大切にする。 ⑤児童が安心して伸び伸びできる環境をつくり、専門知識をもって対応する。 ⑥要望、苦情、相談に対して真摯に受け止めて対応していく。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	A	目標を達成した
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れた	B	専門担当支援員が支援した
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	すべて受け入れた	A	すべて対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	コロナ禍により自粛	C	コロナ禍により自粛
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	実施した	A	会計専門会社に依頼
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	経費節減に努めた	B	児童に適した教材等、適宜に揃えた
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	毎日実施	A	資質向上を目指している
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年3回実施	A	防災に関する意識を持つ
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	年2回実施	A	適切な管理を行った
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	月2回実施	A	定期的に点検、修理をした
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	厳守している
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	人員は充足していた	A	人員は充足していた
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	施設内研修、個別研修を行った	B	コロナ禍であったため、施設内研修、個別研修で対応した
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	全員実施	A	全員実施

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりません)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年行うことが出来ていた、お楽しみ会や、地域の方との交流会、保護者会を行うことが出来なかった。その他、子どもたちは、運動遊びや、複数人で行う遊びも自粛制限となり、我慢を強いられた1年だった。普段から密接状態となっている限られたスペースのクラブ内ではあるが、学年別で過ごす、預かり時間ごとに班分けをして過ごす等工夫をし、可能な限り、密集を避けながら、それぞれで楽しめる工夫をしながら過ごした。子どもたちとも、今の状況を踏まえ、今一度、命の大切さや、人を思いやる気持ちを考え話し合い、安全に過ごす為の理解を得ながらクラブの運営を行ってきた。みんなで協力しより良いクラブ生活を送ってゆきたい。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成28年度から公募により選定され、下山ひまわりクラブの運営を開始。保育園運営のノウハウを生かし、子どもたちへの接し方はもちろん、地域や学校、保護者との連携においても丁寧な対応を行っており、良好な関係性を築いている。地域への発信も積極的に行い、地域で子育てを支援する環境が育まれている。またコロナ渦で様々な制限がある中、緊急の事象に対応しつつ、工夫を凝らしながら児童が楽しめよう運営を行っている。そのほか、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図るとともに、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	山の下地区コミュニティ協議会	指定期間	2019. 4. 1 ~ 2024. 3. 31
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施 設 設 置 目 的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等	
基本方針	<p>【基本理念】 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通してその子どもの健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図ること。遊びの活動への意欲と態度の形成を図ること。遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図ること。保護者への子育ての支援を図ること。</p>
運営組織	<p>【職員配置】<正規指援員>嘱託職員2名<臨時支援員>加配支援員、土曜登録支援員、日々代替支援員</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 地元地域の人材活用を基本に、知識と理解及び情熱を有する質の高い職員を採用し、定期的研修と会議をもつことで、質の担保とボランティア等の育成も同時に行っていく。</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 児童の尊厳を守り傾聴の姿勢を基本に、個別且つ適正な育成を図る。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容】 保護者との密な連絡帳のやりとり・定期的な保護者会を開催、クラブ便りを定期的に発行し、クラブでの子どもたちの用紙、行事などを説明し、理解と協力を依頼する。家庭と密接に連携し、児童の成長を関係者で共有し見守る。</p> <p>【学校や地域との連携に対する考え方及び取組内容】 学校長、学級担任と情報を共有し、児童に合った支援を行う。 地域の避難訓練、防災訓練を通して、顔の見える事業を行う。</p> <p>【配慮を要する児童に対応する対応方針】 一人一人に合った支援指導を行う。 学級担任や特別支援学級担任と情報を共有し、援助、支援、協力をいただく。</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 保護者や地域の要望、苦情は積極的に意見を拝聴した上で、その後の事業に取り入れていき、受付窓口から解決までの体制整備を常に図ることで迅速化していく。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	なし	A	全て受け入れた
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望 可能な限りすべて受け入れ	全て受け入れ	A	全て受け入れた
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべての クラブで臨時開設などの対応	全て対応	A	全て対応
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な 行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	なし	B	コロナ禍で行事が行えな かった
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年一回実施	A	実施した
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理 的経費縮減の努力	経費縮減励行	A	実施した
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	正規職員のみ	B	縮小した
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の 実施 年1回以上	未実施	B	参加できなかった
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部 研修 年1回以上	共通理解の上管理	A	徹底できた
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月実施	A	実施した
	その他業務仕様書等に 定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める 事項の遵守	仕様書の通り実施	A	実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	2人以上配置	A	態勢を整えられた
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	参加回数減少傾向	B	参加できなかった
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	年一回実施	A	実施した

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

正規支援員2名のうち1名が療養していたため放課後児童支援員の資格を取得していた臨時支援員が正規支援員に迎え運営していましたが、療養中の支援員が復帰した為正規職員3名となりました。
コロナ禍で様々な行事が中止になりました。
また、消毒作業や分散運営が必要となりました。
支援員の認識不足や思い込みで保護者からクレームが入り指導しました。
令和3年度はクレームのないように努めていきたいです。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成26年度から「地域の子どもを地域で見守る」地域主体運営モデルとして運営を開始。運営開始当初から、地域と学校と保護者との連携がよく図られているほか、地域力・市民力を発揮した地域で子育てを支援する環境が育まれている。
学校のグラウンドや体育館、図書室などを活用することで、児童の活動の幅が広がっており、またコロナ禍で様々な制限がある中、分散見守りなど緊急的な事象についても対応している。
そのほか、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図るとともに、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。

管理・運営に関する基本理念、方針等

基本方針	<p>【基本理念】 放課後の時間帯において、保護者の代わりに家庭的機能を補完し、子どもの心身の状況や発達段階を踏まえながら、適切な遊び及び生活の場を提供するとともに、子どもの最善の利益を考慮し、その健全育成を図る。</p> <p>【基本方針】 ①子どもの安全管理、健康管理、情緒の安定②遊びなどの活動への意欲と態度の形成③遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上及び基本的生活習慣の確立④保護者と連携した育成支援と学校や地域の様々な社会資源と連携し、その家庭の子育てを支援する。</p>
運営組織	<p>【職員配置】 支援の単位ごとに2名以上の支援員を配置し確実なクラブ運営を実施する。</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】 児童の育成に情熱を燃やし、心身ともに健康な支援員を確保し、都道府県認定資格研修を修了するなど質の高い人材を育成する。</p>
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】 ①低・中・高学年の発達段階に応じた緻密な対応②学年を超えたコミュニケーションによる仲間づくりの醸成③積極的な交流・施設外活動による社会性の向上④安全確保能力を含めた自己管理能力の育成を図る。</p> <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取組内容】 連絡帳、クラブ便り、保護者会等により、保護者との連携を図るとともに、保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、適切な支援を行う。</p> <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】 日頃から学校との情報共有に努め、子どもの健康状態や心身の状況に応じた支援、事故・犯罪・災害等から子どもを守るために連携を図る。</p> <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】 社協ならではの長を生かし様々な地域の関係機関と連携するとともに、ふれあいスクールや地域教育コーディネーターとの情報交換・連携に努める。</p> <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】 入会前にクラブ見学の期間を設け、保護者との綿密な情報共有を行うとともに、必要に応じて専門機関と連携を図り、協力できる体制を進める。</p> <p>【要望・苦情に対する対応及び方法】 意見箱の設置やアンケート等の実施、第三者機関の設置等により、利用者からの要望・苦情などに適切に対応する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	A	目標を達成した
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	可能な限り受け入れた	B	対象児童に合った支援を行った
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応した	A	臨時休校・学級閉鎖時に全て対応した
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	すべてのクラブで保護者参加可能な行事を開催した	B	コロナ禍のなか出来る範囲で関わる機会を設けた
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	A	目標を達成した
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減の励行	A	縮減に努めた
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	すべてのクラブで毎日実施	A	毎日、実施し情報共有を図っている
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	1クラブ以外はすべて実施	B	適切に実施した
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	事務研修年2回実施	A	適切な個人情報管理を行った
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を実施	A	定期点検により、常に安全に使用できるよう保持している
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	A	適切に実施した
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	すべてのクラブで2人以上配置	B	適正に配置されている
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	全体研修、職種別等の研修会を開催	A	専門性を深める研修を実施している
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健康診断年1回	A	目標を達成し、衛生管理にも配慮されている

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

各クラブにおいて児童の健全育成を図るため、保護者・学校・地域や区社協等関係機関との連携を強化し、児童及びその家庭の子育て支援に努めるなど、「安心・安全なひまわりクラブ」の管理運営に努めました。

また、特別な支援を要する児童への対応のため、階層別・職種別の支援員研修・グループ研修や常勤の全支援員が放課後児童支援員認定資格研修を受講し、支援員に必要な知識と技能の習得を図りました。

さらに、意見箱の設置や保護者アンケートの実施、利用者からの要望・苦情等を運営委員会において協議・共有を図り、運営改善に取り組みました。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

運営するクラブにおいて、児童数増加に対する受け入れ態勢を万全に整えるとともに、設備及び運営を向上させていくための体制を整えるため、他の放課後児童健全育成事業者に対し、研修や情報交換会を行う事業を実施する等、市全体の放課後児童クラブの質の向上を図るための重要な役割を担っている。コロナ禍で様々な制限がある中においても、関係機関と連携を図り、緊急的な事象も適宜対応している。

また、保護者アンケートによる運営改善により、効果的な児童の健全育成を図っている。そのほか、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図るとともに、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ひまわりクラブ		
管理者名	小林コミュニティ協議会	指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ○基本理念 児童が安心・安全に過ごし健やかな成長を育める場を提供する。 ○基本方針 意欲・自主性を尊重し発達や状況に応じた柔軟な育成支援を行う。
運営組織	<ul style="list-style-type: none"> ○職員配置 基本方針の実施、無駄のない効率の良い配置を実施する。 ○人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容 地域の人材を活用する。専門的知識・技術を有している人材を採用し内外の研修を重ね常に自己研鑽に励み支援員間で事象について共有し協議しながら対応する。
運営についての提案	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもの発達段階に応じた健全育成 児童の人格を尊重し児童の発達や状況に応じた柔軟で適正な育成支援 ○保護者、学校、地域との連携に対する考え方及び取組内容 保護者コミュニケーション（送迎時・保護者会等）を大切にする。学校長・学級担任と情報を共有する。地域行事に参加し交流する。 ○配慮を要する児童に対する対応指針 個々にあった支援を行う。学校長・学級担任と情報を共有し助言を仰ぐ。 ○要望・苦情に対する対応及び方法 要望・苦情に対しては真摯に受け止め傾聴しその後迅速な解決へと取り組む。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	すべて受け入れた	A	学校との連携による場の確保
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れた	B	
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	対応した	A	職員を確保しすばやく対応した。
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	実施した	A	定期的に地域広報誌にて業務内容を公開した。
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	実施した	A	複数人の立会いのもと会計監査を実施
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	努力した	A	人件費の見直し
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	実施した	A	日頃より職員間の情報共有を重視した
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	実施した	B	
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	研修は実施していない	C	研修という名目での実施は行っていない
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	実施した	A	早急な補修・改善の実施
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	配置した	A	状況に応じて対応した
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	していない	C	新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため延期した。
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	実施した	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

問題・事象への迅速な対応及び解決のため 学校との連携を密にしております。
職員の資質向上ため 内部研修の定期的な実施及び職員間での情報共有・協議をさらに重視します。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和2年度からひまわりクラブとして同協会が運営を開始。以前は民設民営の「こぼっ子クラブ」として同協会が運営を行っていたことから、地域や学校、利用者との信頼関係が構築されている。ひまわりクラブの運営は初年度であったが、強みである地域や学校と連携体制を活かしながら運営を行っているほか、コロナ渦で様々な制限がある中、工夫を凝らしながら緊急的な事象に対応しており、今後の運営も期待できる。
そのほか、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	月潟ひまわりクラブ・臼井ひまわりクラブ		
管理者名	社会福祉法人新潟南福祉会	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	条例に記載の通り		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。

管理・運営に関する基本理念、方針等

基本方針	<p>【基本理念】 公の施設管理者としてのその責務を自覚し、管理運営に関する基本事項を実践するとともに、児童が心身共に健やかに育成されるよう適切な運営を行う。</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思いやりと人の痛みがわかる子ども」の育成と「安心して過ごせる安全な居場所づくり」に努める。 ・保護者への子育て支援を図る。 ・地域との密接な連携を実践する。
運営組織	<p>【職員配置】 〈正規支援員〉3名 〈補助支援員〉日々代替支援員・土曜日登録支援員・長期休暇の状況に応じて短時間登録支援員を配置</p> <p>【人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の向上のため、安全管理、生活指導、人材育成等の計画的な研修の実施と、業務の執行体制についても検証、整備する。
運営についての提案	<p>【子どもの発達段階に応じた健全育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程の理解と特徴をふまえた、個々の実際に即した援助 ・学年の違う仲間作り、多くの大人との関わりや活動を通し自主性や社会性、創造性が育つよう生活の場の提供 <p>【保護者との連携及び保護者支援に対する考え方及び取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クラブだより」を毎月発行し、活動や生活の様子を発信し行事等の参加、呼びかけの効果的な方法の工夫 ・必要な場合は、保護者と個別面談を行い、悩みや不安などの相談に応じ、助言や支援をし、学校等の関係機関やコミュニティ協議会等、地域組織と連携を図り課題解決を図る。 <p>【学校との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童、保護者、学校、地域の情報交換だけでなく、児童の健全育成、保護者の子育て支援等にも連携し地域の育てる力を向上させる。 ・学校より毎月の下校時刻表、行事予定表を頂き、学校へも毎月「クラブだより」を配付し相互の情報交換を行う。 <p>【地域との連携に対する考え方及び取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や法人運営の高齢者との様々な機会を通じた交流で、人の心のぬくもりを大切にする。 ・コミュニティ協議会、自治会長等と連携し、ともに参加できる行事を企画する。 <p>【配慮を要する児童に対する対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童も無い児童も、また、食物アレルギー等配慮を要する児童も「ともに学び、ともに遊び、ともに育つ」を推進し、安心して安全に過ごせるように運営する。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童 0人	B	
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	すべて受け入れ 放デイ担当者と連携	A	
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	B	
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	保護者参加型の行事の企画・開催	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年2回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	縮減努力の執行	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	開設、閉設時毎日実施	B	
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	年1回以上実施	B	
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	南福祉会での全員研修会を開催	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	毎月点検を実施	B	
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	仕様書のとおり実施	B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	正規支援員3名配置した	B	
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	南福祉会での全員研修会を開催	B	
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期健診年1回実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

保護者の皆様が安心して、お子様を預けられるようにコロナ対応の中、介護関係のコロナ対応研修(リモート)に参加し対応や考え方の知見を深め、不足しがちな備品(マスク・アルコール等)も法人で一括購入した物を必要数を確保いたしました。また、児童が楽しく室内で楽しめるように法人内の備品を利用して映写会や祭り備品(わたあめ機・アイスクリーム・かき氷等)で楽しく過ごして頂けるように努めました。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

利用者が安心・安全に児童を預けられるよう職員向けの研修を行うとともに、地域、学校、保護者と情報共有を図りながら運営にあたっている。また、コロナ渦で様々な制限がある中、緊急的な事象への対応、感染予防に努めながら児童が楽しめる催しなどの実施するなど、工夫しながら児童の健全育成を図っている。また、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施しており、指定管理者として優良と評価する。

令和2年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	木戸ひまわりクラブ		
管理者名	特定非営利法人新潟市木戸地域コミュニティ協議会 木戸ひまわりクラブ運営委員会	指定期間	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日
担当課	こども未来部 こども政策課		
所在地	新潟市東区中山4丁目2番6号		
根拠法令	児童福祉法		
設置条例	新潟市ひまわりクラブ条例		
施設概要	対象者	昼間保護者のいない家庭の児童。小学1年生から小学6年生まで。	
	費用	月8,400円とクラブ活動費（月2,000円程度） 保護者の税額による減免制度及び多子減免あり	
	開設日時	学校の平常授業期間・・・放課後から午後6時30分まで 土曜日、学校の臨時休業、長期休業・・・午前8時から午後6時30分 ただし、日曜日、祝日および年末年始（12月29日～1月3日）は開所しない	

施設設置目的	
昼間保護者のいない家庭の小学生の健全な育成を図ること。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
基本方針	<p>[基本理念] 放課後、保護者の代わりに家庭的機能の補完をしながら、「生活」の場を提供し、「遊び」及び「生活」を通して子どもたちの健全育成を図る。</p> <p>[基本方針] 子どもの健康管理、安全管理、情緒の安定を図る。遊びを通しての自主性、社会性、創造性の向上を図る。保護者の子育ての支援を図る。</p>
運営組織	<p>[職員配置] 〈支援員〉委嘱職員 第1、第2 各2名 〈補助員〉加配 第1・4名 第2・5名 日々代替補助員数名 事務員2名</p> <p>[人材確保、育成、研修に対する考え方及び内容] 人材を確保するために広く公募し、厳選に選考する。知識と理解力及び情熱を有する質の高い人材を育成するために積極的に研修へ参加する。実習生や職場体験の積極的な受け入れをする。</p>
運営についての提案	<p>(1) 子どもの発達段階に応じた健全育成 子どもの発達の特性をふまえた個々の実際に即した援助を行う。学校・民生児童委員主任児童委員と連携を密にし、課題解決に取り組む。</p> <p>(2) 保護者との連携及び保護者支援 保護者からの告知を丁寧に聞き、支援員からの報告を徹底する。保護者に寄り添える姿勢を大切に する。</p> <p>(3) 学校との連携 学校とは随時情報をやり取りし、子ども一人ひとりをよく見る。地域教育コーディネーターを介して学校との連携を密にする。放課後ふれあいスクールとは、一体化して活動する。</p> <p>(4) 地域との連携 民生児童委員・コミ協・学校支援ボランティア・PTAとの連携を密にし、地域全体で課題解決に取り組む。地域行事を共同で行う。</p> <p>(5) 配慮を要する児童に対する対応方針 障害児の入会希望には、子どもと保護者の立場に立って対応し、受け入れを行う。学校や地域の専門機関との連携や、研修による障害児支援の向上を図る。</p> <p>(6) 要望・苦情に対する対応及び方法 要望や苦情は積極的に聞き、取り入れるべき内容は事業に反映させる。苦情の受付は、面接、電話、書面などで行い報告書にまとめる。担当者と責任者で内容確認をした上で、解決に向けて話し合いを行う。必要な時には第三者委員の意見を聞き、対応する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市 民	児童福祉の充実	待機児童 0人	待機児童0人	B	
	障がい児の受け入れ	障がいのある児童の入会希望可能な限りすべて受け入れ	全て受け入れ	A	肢体不自由児3名障害児10名受け入れ
	緊急時の適切な対応	疾患などによる休校時すべてのクラブで臨時開設などの対応	全て対応	A	コロナ禍に於ける休校、分散登校時の長期の開所
	地域との交流促進	地域や保護者が参加可能な行事の実施 各クラブ年1回以上 地域への業務内容公開	地域へ業務内容を公開した	B	
財 務	会計監査	内部監査の実施 年1回	年1回実施	B	
	管理運営経費の縮減	入札、見積もり合わせなど、管理的経費縮減の努力	経費縮減に努めた	B	
業 務	情報の共有	職員のミーティングの励行	日々ミーティングを行った。	A	毎日ミーティングを行い、月に1回事務局を交えてのミーティングを行った。
	防災対策の徹底	個別事象を想定した避難訓練の実施 年1回以上	学校や地域の防災訓練にも積極的に参加した	A	年2回の防災訓練の他に学校、コミセンの防災訓練にも参加している。
	個人情報保護の徹底	個人情報保護に関する内部研修 年1回以上	ミーティングでの周知	B	
	設備の安全管理	施設設備、遊具の安全点検 日常点検・定期点検を実施	日々の安全確認の徹底	B	
	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守		B	
人 材	配置人員条件の充足	職員の配置 2人以上	職員の配置各クラブ2名	B	
	職員の資質向上	全員研修会の開催 年1回以上	研修の実施	A	研修として学校の授業のサポートを行っている。支援学級の先生による研修を行っている
	職員の健康管理	定期健康診断の実施 年1回以上	定期検診の実施	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

学校との連携を密にし、情報のやりとりをして子どもたち一人一人を良く見るようにしている。地域教育コーディネーターを介して、支援員が学校の校外学習やクラブ活動のボランティアに入り、1年生の授業には、研修を兼ねて見守りのサポートに入っている。そうすることで、子どもたちの学校生活の様子や、先生方の指導の工夫などを見ることができ、クラブの参考になっている。

コロナ禍の状況に於いての分散に、第1はコミセンの空き部屋、第2は学校の特別教室を毎日貸していただいている。支援学級の先生から、クラブへ応援に入っただき、分散の人手不足を補うと共に、支援を要する子どもたちの対応に協力していただいている。子どもたちの外遊びや体育館で遊ぶ際に、地域の大人から協力していただき、夏休みには、陶芸や草木染も教えていただいた。

子どもの変化には支援員がいち早く注目し、事務局に報告して、学校や保護者、または民生児童委員に相談をして、トラブルを未然に防ぐ努力をしている。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

平成26年度から「地域の子どもを地域で見守る」地域主体運営モデルとして運営を開始。運営開始当初から、地域と学校と保護者との連携がよく図られている。コロナ禍で様々な制限がある中、地域や学校と協力を行いながら緊急的な事象にも対応するなど、「地域の子どもを地域で見守る」運営が実践されており、地域力・市民力を発揮した地域で子育てを支援する環境が育まれている。また、放課後児童支援員認定資格研修の計画的受講など支援員のスキルアップも図るとともに、正規支援員の勤続年数や研修実績による処遇改善「キャリアアップ処遇改善」についても実施した。指定管理者として優良と評価する。